



11月の予定

2022年10月7日

野毛山幼稚園

月主題 月のねがい

今月の聖句

わたしの隣人とはだれですか。



ルカによる福音書10章25～37節

「善いサマリア人」の話 ルカによる福音書10章
 聖書の先生がイエスさまにたずねました。
 「何をしたら正しい生活ができるでしょうか。」
 イエスさまがおっしゃいました。
 「聖書には何と書いてありますか」
 「『神さまを心から愛しなさい。』それから『隣人をを自分と同じように愛しなさい』と書いてあります。」
 「その通りです。そのように実行しなさい。」
 「でもわたしの《隣人》とはだれですか」
 するとイエスさまはたとえ話をなさいました。

ある人が旅に出ました。途中の道で強盗に襲われ、殴られ、荷物も着物もはぎとられてしまいました。

そこに祭司が通りかかりました。祭司は旅人をちらっと見ただけで、道の反対側を通って行ってしまいました。

レビ人(神殿で奉仕する人)が通りかかりました。レビ人は倒れている旅人を見つけましたが、急いで行ってしまいました。

やがて誰かが近づいてきました。サマリア人です。「ああだめだ」と旅人はがっかりしました。サマリア人とユダヤ人は敵対していたからです。助けてくれるはずがありません。

イエスさまは話を続けられました。

サマリア人は、倒れている旅人を見つけると立ち止まりました。そして、旅人を介抱してあげ、それから自分のロバに乗せて、宿屋に連れていきました。サマリア人は、宿屋の主日にお金を渡して言いました。「この人のお世話をしてください。お金が足りなければ私が帰りに払います。」

イエスさまは、聖書の先生に質問なさいました。「3人のうち強盗にあった人の隣人は誰ですか?」「その人に親切にしてあげた人です。」

イエスさまは言われました。「あなたも同じようにしなさい」と。

主題	年少ゆり組	年中スイトピー・年長コスモス組
分かち合う	神さまがすべてのものを創り育み、愛してくださっていることを知る。	神さまの恵みを感謝して分かち合い、共に賛美し、祈り合わせることであわす。
	友だちとイメージを合わせながら、一緒に作ったり、ごっこ遊びをすることを喜ぶ。	友だちと思いや考えを合わせたり、思いや考えの違いを調整し合って遊ぶ。
	秋の自然物に触れながら、色々な表現をする。じっくり取り組み、満足感を味わう。	一人でも、仲間と共にでも、じっくり取り組む楽しさを味わう。

予 定

日	曜	予 定	備 考
1	火	令和5年度(2023年度)入園願書受付	休園
2	水	11月誕生会	
3	木	文化の日	休園
8	火	ガーデンパーティー	園児同士
11	金	保育講演会 副島江理子先生	ひつじ会行事
16	水	感謝祭礼拝(年少ゆり組)	保護者 9時 礼拝堂
		感謝祭礼拝(年中スイトピー組)	保護者 10時30分 礼拝堂
17	木	感謝祭礼拝(年長コスモス組)	保護者 9時 礼拝堂
23	火	勤労感謝の日	休園
28	月	アドベント礼拝	園児同士
29	火	アドベント礼拝と クリスマス親子工作(年長)	9時集合 年長コスモス組
30	水	アドベント礼拝と クリスマス親子工作(年中少)	9時集合 年中スイトピー組・年少ゆり組



年 少(ゆり組)	年 中(スイトピー組)	年 長(コスモス組)
楽しく歌ったり、楽器遊びをしたりする。	思い切りからだを動かして遊ぶ。	相手の意見を取り入れながら遊ぶ。
簡単なルールのある遊びを楽しむ。	みんな一緒にの楽しさを知る。	自分の意見を相手にわかるように伝える。
友だちと一緒に楽しむ。	身近な自然に触れ、季節の移り変わりを感じる。	役割を持ってさまざまな活動に取り組む。
身近な自然に触れ、季節の移り変わりを感じる。	自然の恵みに感謝する。	秋の自然に触れ、変化の美しさや不思議さに気づき、そこにある神さまの力を知る。
わたしたちのために働いてくださっている方々を知り、ありがとうの気持ちを持つ。	わたしたちのために働いてくださっている方々を知り、ありがとうの気持ちを持つ。	わたしたちのまわりには、私たちのために働いてくださっている方がたくさんいることを知る。
何かしてもらった時はありがとうと言える。	ありがとうが心から言える。	感謝の気持ちを持つ。
感謝祭の礼拝を心からささげる。	感謝祭の礼拝を心からささげる。	感謝祭の礼拝を心から行う。
たくさんの本や紙芝居に親しむ。	絵本やお話を読んで、喜んだり、関心を持ったりする。	神さまからの最大の贈り物イエスさまのお誕生をどのように迎えるかを考える。
クリスマスはどんな日かを知る。	たくさんの本や紙芝居に親しむ。	アドベントを迎えるためにどうするか考える。
クリスマスの本を見たり歌を歌ったりする。	クリスマスの準備を少しずつ始める。	楽しく歌ったり、踊ったりする。
	クリスマスの本を見たり歌を歌ったりする。	たくさんの本に親しむ。